



西宮市立安井小学校 学校通信

No.13

令和6年(2024年)1月9日

こころ豊かにたくましく 共に生きる安井の子供

～チーム安井であいさつと優しさと笑顔あふれる学校づくり～

新年あけましておめでとうございます。今年一年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。年末年始は穏やかな晴天に恵まれ、暖冬で温かい日が続きました。保護者の皆様、地域の皆さまにおかれましては、ご家族と共に、おだやかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年中は本校の教育活動に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。今学期もどうぞよろしく願いいたします。



のんびり過ごしていた正月もつかの間、能登半島地震が発生し、大きな衝撃を受けました。犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地域の1日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。その後、日本航空と海上保安庁の航空機が衝突する事故がありました。海保機は被災地に向かう予定だったということで、大変辛い気持ちになりました。

#### 【新学期スタート】

さて、今日からいよいよ3学期がスタートしました。冬休み中静かだった校舎は、子供たちの笑顔と元気な声で活気にあふれています。

今年は辰年です。「辰」は実際に生存する動物ではなく、神話上の動物です。その辰である「龍」は誰が見ても力強さを持っており、権力の象徴ともされている動物です。その理由から力があふれるような年になりやすく、活気づくような年になると言われています

昨年末の終業式では、子供たちに日本一になった阪神タイガース岡田監督の話をしました。

「当たり前のことを当たり前に行ったらええ結果が出るだけやんか。自分らで崩れていくのは、そらあかん」「当たり前のことを当たり前に行けるかどうか」という岡田監督の言葉通り、阪神タイガースは基本を徹底的に練習し、力を発揮して優勝することができました。子供たちには、当たり前のこと、基本的なことを大事にすることが、結果につながるということを話しました。

スポーツだけでなく、音楽、勉強でも同じことではないでしょうか。基本を大事に、当たり前のことを当たり前に行っていくことがとても大切なことです。子供たちには、新年から目標をもって、新しいことに挑戦し、夢に向かって一步一步進んでいってほしいと思います。3月の修了式まで、登校する日はあと51日、卒業式まではあと49日です。1年間のまとめをしっかりと、来るべき次年度に向け力を蓄えさせたいと考えています。

本年も子供たちが大きく成長できるよう、学校の教育活動にご理解、ご協力をどうぞよろしく願いいたします。

(校長 山本 雅之)



「屋上からの写真：運動場と北側の山並み」